

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

みんなで登ったたいこ岩

神山小学校 五年 鎌田 美神心

ぼくは、五年生で、宿泊学習でたいこ岩に登りました。

バスで山に登っていくと、町がちいさく見えしました。バスを降りた時、バスを乗ったときよりも、少し寒く感じました。

登るまえに、準備体操をしてから登りました。登り始めたとき、ドキドキしました。

階段を登ったら、雨が朝ふっていたから、ふるふるして、ころびそうになりました。

みんな気をつけてね。と、リーダーが言いました。階段が終わると

川が流れていて、滝のようでした。

流れ落ちていないから、川だよ。とまるちゃんに教えてもらいました。

さきにすすむと橋があり、ジャンプしたり横にわらしたりしたら、橋がぐらして、

こわかったです。一番さいしょのばんかんが終わったら、

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

メシカ ラという木がありました。ヒメシカ
は、昔、クラーラーとして、使われてた
と、教えてもらいました。そして、川が流
れており、その水を、コップについで、飲
みました。口の中には、ぱくとあまさか
ひろかりました。そして、ものけひめ
にもでた、スギがありました。すこし上
トいくと、五メートルくらい
の近さで、シカがエサを食べていま
した。きり外でいて、しかいが真っ
白になりました。

「きりは、町から見たら雲だけ
と、山の中は、きりだよ。きりも雲も
いっしょだよ。」と、まるちゃんか
教えてくれました。

頂上についたら岩をたたくと、
「ポンポン。」

と音外になりました。帰り道は、下
りの階段で、ひざかいたくなく
りました。帰り道は、みんな走る
ように、下っていくので、すぐ着
きました。最後の階段は、雨でぬ
れつるつるして、ころびそう

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

になりました。

帰り道に、屋久島に来ていたフランスやアメリカやドイツなどの観光客の人と会って、すごいと思いました。

最後、着いたときは、やっとと思いました。

20x20 grid for writing practice.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

